

第2期盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和2年度） の現状分析と取組状況について

各施策の進捗状況の評価基準は、次のとおりとする。

- (1) 令和2年度の実績が令和6年度の目標値を超えているものについて、「目標値に到達（↑）」と評価する。
- (2) 平成30年度の基準値と令和2年度の実績を比較して増加率が2割を超えるものについては、「目標値に向け推移（↗）」と評価する。
- (3) 平成30年度の基準値と令和2年度の実績を比較して増加率が2割未満の場合については、「停滞（→）」と評価する。
- (4) 平成30年度の基準値と令和2年度の実績を比較して減少しているものについては、「後退（↘）」と評価する。

基本目標1 若者・女性をひきつけるしごと創出

【数値目標】

指標	単位	H30 基準値	R1	R2	R6 目標値	進捗 状況 ¹	担当課
盛岡公共職業安定所管内の就職を希望する高校3年生のうち県内就職を希望する者の割合	%	67.0	68.1	68.4	70.0	↗	経済企画課
大学卒業生の地元就職率	%	44	42	43	55	→	企画調整課
盛岡公共職業安定所管内の就職率（新規学卒者除く。）	%	38.3	38.5	33.0	42.5	↘	経済企画課
盛岡公共職業安定所管内の雇用保険適用事業所数	社	8,426	8,406	8,407	8,700	↘	経済企画課

1 進捗状況：目標値に到達…↑，目標値に向け推移…↗，停滞…→，後退…↘

【現状分析と今後の方向性】

- 「盛岡公共職業安定所管内の就職を希望する高校3年生のうち県内就職を希望する者の割合」は、30年度比1.4ポイント増加した。新型コロナウイルス感染症の大都市圏での感染の増加や、県をまたいでの往来の自粛が求められたこと等により高校生自身のみならず保護者の意向もあり県内就職を希望する生徒の増加につながったものと考えられる。
- 「大学卒業生の地元就職率」についても、高校3年生同様の要因によるものと考えられる。今後は、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機とした、地元定着志向を好機と捉え、地元定着に向けた各種施策に取り組むほか、リモートワークの浸透に伴い東京圏の企業のサテライトオフィスの誘致などによる、東京圏の企業へ就職するが居住地は地方というような新たな働き方へのアプローチや、若者に魅力のあるIT分野などの成長産業を育成する必要がある。
- 地元企業への就職を促進するため、企業のワーク・ライフ・バランスの推進による働く場としての魅力向上やオンラインを活用した地元企業情報の発信に取り組むほか、若者の地元企業への定着につながる取組を引き続き実施する。

戦略1 多様な仕事の創出

【KPI】

指標	単位	H30 基準値	R1	R2	R6 目標値	進捗 状況 ¹	担当課
市インキュベーション ² 施設の稼働率	%	85.2	79.6	64.0	89.9	↓	ものづくり 推進課

1 進捗状況：目標値に到達…↑，目標値に向け推移…↗，停滞…→，後退…↓

2 インキュベーション施設…新規事業の起業支援や、起業家やベンチャー等を自立の目途がつくまで支援する施設のこと。インキュベーションとは孵化（ふか）という本来の意味から転じた経済用語。市インキュベーション施設は、市産業支援センター，市産学官連携研究センター，市新事業創出支援センター。

【現状分析と今後の方向性】

■「市インキュベーション施設の稼働率」は第1期計画期間では順調に増加し、目標値を達成したが、令和2年は大幅な減少となった。特に新事業創出支援センターの稼働率が低いが、入居期間の満了等に伴う退去企業があり、一時的に空白期間があったことによるものである。今後も関係機関と連携した情報収集を促進し、入居企業の掘り起こしに努める必要がある。

■地方創生推進交付金を活用した「成長分野拠点形成支援事業」では、医療福祉機器製造企業の業績向上及び人材確保につながっており、医療福祉機器分野のクラスター形成は順調であるが、市内製造業全体の業績向上に寄与する状況には至っていないことから、交付金終了後も引き続き事業支援の必要がある。

【計画事業】

事業	現状と今後の取組					担当課
	R2	R3	R4	R5	R6以降	
1-1-1 創業支援事業【☆】	○	○	○			ものづくり推進課
1-1-2 盛岡市産学共同研究事業補助金【☆】	○	○	○			ものづくり推進課
1-1-3 市インキュベーション施設の管理運営事業【☆】	○	○	○			ものづくり推進課
1-1-4 女性の起業・就労支援事業	○	○	○			男女共同参画推進室
1-1-5 成長分野拠点形成支援事業	◆	◆	○			ものづくり推進課
1-1-6 新産業等用地整備事業	○	○	○			新産業拠点形成推進事務局
1-1-7 道の駅設置事業	○	○	○			道の駅整備推進室
1-1-8 工場新設拡充等事業	○	○	○			ものづくり推進課
1-1-9 盛岡広域企業誘致推進事業【☆】	○	○	○			ものづくり推進課
1-1-10 国際リニアコライダー ³ 誘致推進事業	○	○	○			国際リニアコライダー推進事務局
1-1-11 盛岡AI・IoTプラットフォーム事業	○	○	○			ものづくり推進課
1-1-12 サテライトオフィス環境整備支援事業	○	○	○			ものづくり推進課

【☆】・・・「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業

◆地方創生推進交付金等を活用 ○市単独又は地方創生以外の補助金等を活用

3 国際リニアコライダー（ILC）……全長 30km を超える直線の地下トンネルの中に設置される直線形衝突型加速器で、トンネルの中央で電子と陽電子を衝突させる実験装置のこと。ILCの建設地として、「北上高地」が候補地の一つとして挙がっており、建設が実現すれば、国際的な都市機能の充実、施設建設に伴う関連産業の定着、研究成果を活用した産業の創設など、地域経済への多大な波及効果が期待できる。

戦略2 仕事の魅力の向上

【KPI】

指標	単位	H30 基準値	R1	R2	R6 目標値	進捗 状況 ¹	担当課
卸・小売の年間販売額	億円	12,664	—	—	11,800		経済企画課
1企業あたりの商業サービス業の企業売上高	千円	199,022	—	—	185,175		経済企画課
製造品出荷額等	千万円	11,962	12,289	12,554	11,017	↑	ものづくり推進課
新規就農者数	人	150	161	186	211	↗	農政課
農業総生産額	百万円	9,548	9,464	9,292	10,025	↘	農政課

1 進捗状況：目標値に到達…↑，目標値に向け推移…↗，停滞…→，後退…↘

※「卸・小売の年間販売額」及び「1企業あたりの商業サービス業の企業売上高」は経済センサス（隔年調査）によるもので，令和2年度は未実施

【現状分析と今後の方向性】

- 「製造品出荷額等」は目標値を達成しており，「繊維工業」や「金属製品製造業」が前年度より増加している。なお，「製造品出荷額等」は岩手県工業統計調査によるもので，令和2年度の数値は，令和元年度の実績値を引用していることから，コロナ禍による影響については今後注視していく必要がある。
- 「新規就農者数」は，農業次世代人材投資資金，親元就農給付金の交付により，就農初期における所得を下支えし，新規就農のハードルを下げることにつながった。今後は，新規就農者が継続的に安定した収入を得られるよう，関係機関による伴走型サポートチームの機能を強化する必要がある。

【計画事業】

事業	現状と今後の取組					担当課
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6 以降	
1-2-1 新規就農支援事業	○	○	○			農政課
1-2-2 木材需要拡大推進事業	○	○	○			林政課
1-2-3 ものづくり産業魅力向上事業【☆】	○	○	○			ものづくり推進課
1-2-4 食と農のバリューアップ推進事業	○	○	○			食と農の連携推進室
1-2-5 盛岡の食材プロモーション事業	○	○	○			食と農の連携推進室
1-2-6 商店街等の魅力強化支援事業	○	○	○			経済企画課
1-2-7 森林経営管理事業	○	○	○			林政課
1-2-8 森林適正管理推進事業	○	○	○			林政課
1-2-9 中小企業事業承継支援事業	○	○	○			経済企画課
1-2-10 中小企業生産性向上支援事業	○	○	○			経済企画課 ものづくり推進課
1-2-11 中小企業支援に係る金融機関と協定の締結	○	○	○			経済企画課
1-2-12 伝統産業振興事業	○	○	○			ものづくり推進課
検討事業 まちなかりノベーション推進事業						経済企画課
検討事業 ビジネスモデル構築支援事業						経済企画課

【☆】・・・「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業

戦略3 ワーク・ライフ・バランスの推進

【KPI】

指標	単位	H30 基準値	R1	R2	R6 目標値	進捗 状況 ¹	担当課
ワーク・ライフ・バランス推進事業参加企業数	社	89	272	61	197	↓	経済企画課

1 進捗状況：目標値に到達…↑，目標値に向け推移…↗，停滞…→，後退…↓

※令和元年度までの第1期盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、累計数をKPI数値としていた

【現状分析と今後の方向性】

- 「ワーク・ライフ・バランスの推進事業参加企業数」は令和2年度61社となり平成30年度の基準を下回った。令和2年度は魅力ある職場づくり推進事業として、ICT研修や、働き方改革の勉強会を実施したが、コロナ禍において参加企業が想定より少ない状況となった。ポストコロナに向け、テレワークやICT活用の推進と働き方改革を組み合わせ、企業の取組みを推進する、フォーラム等を開催する。
- 令和2年度は、ICTを活用した働き方改革に取り組むための研修を開催したほか、すでに働き方改革に取り組んでいる事業者による事例発表での勉強会を開催した。今後についても、ICTを活用した生産性の向上による働き方改革をより多くの企業で推進してもらうためのセミナー等を開催する。

【計画事業】

事業	現状と今後の取組					担当課
	R2	R3	R4	R5	R6 以降	
1-3-1 魅力ある職場づくり推進事業	○	○	○			経済企画課

戦略4 地域経済を担う人材の育成・確保

【KPI】

指標	単位	H30 基準値	R1	R2	R6 目標値	進捗 状況 ¹	担当課
ジョブカフェいわての利用者数	人	51,501	58,171	73,207	55,000	↑	経済企画課

1 進捗状況：目標値に到達…↑，目標値に向け推移…↗，停滞…→，後退…↘

【現状分析と今後の方向性】

- 「ジョブカフェいわての利用者数」は、令和6年度の目標を大きく超え、達成となっている。要因としては、UIターン希望者への支援を強化したことで、およそ5,000人の利用者増加があった。また、コロナ禍の影響で、リモート環境が整ったことにより相談者の増加につながった。
- 「モリオカシゴトカメラ」を発行や盛岡広域8市町連携による高校生インターンシップ事業の実施により、地元企業を知り、地元で働き生活することの魅力を伝えることで、高校生等の若年層の定住を推進する。
- 労働人口の確保、女性の定住を目的にキャリアアップ支援や仕事と家庭の両立支援を働く女性向けの人材育成講座として実施した。令和2年度は将来リーダーを期待されている女性を対象に講座を実施し、好評であったが、今後も世の中のニーズを適切にとらえ講座内容を検討し実施する。

【計画事業】

事業	現状と今後の取組					担当課
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6 以降	
1-4-1 高校生等地元就職フォローアップ事業【☆】	○	○	○			経済企画課
1-4-2 若年層雇用対策事業【☆】	○	○	○			経済企画課
1-4-3 ふるさとワーキングホリデー事業		○	○			経済企画課
1-4-4 ものづくり人材育成事業【☆】	○	○	○			ものづくり推進課
1-4-5 盛岡テクノミュージアム設置事業	○	○	○			ものづくり推進課
1-4-6 移住・就労マッチング支援事業	○	○	○			経済企画課
1-4-7 中小企業人材育成支援事業	○	○	○			経済企画課
1-4-8 誰もが活躍できる職場づくりの推進に向けた事業者への啓発と支援事業	○	○	○			男女共同参画推進室
1-4-9 経営者・管理職向けの多様な人材を活かすマネジメント支援事業	○	○	○			男女共同参画推進室
1-4-10 林業労働対策事業	○	○	○			林政課
1-4-11 女性の起業・就労支援事業（再掲）	○	○	○			男女共同参画推進室
1-4-12 働く女性向けの人材育成事業	○	○	○			男女共同参画推進室
1-4-13 女性活躍推進団体間におけるネットワークの形成	○	○	○			男女共同参画推進室
1-4-14 オンライン就職面談会	○	○	○			経済企画課
検討事業 上下水道工事事業者人材育成支援事業						経営企画課 水道維持課
検討事業 多様な主体の活躍の推進に関する調査研究						都市戦略室

【☆】・・・「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業

基本目標2 切れ目のない結婚・出産・子育て支援

【数値目標】

指標	単位	H30 基準値	R1	R2	R6 目標値	進捗 状況 ¹	担当課
合計特殊出生率*	率	1.35 (H29)	1.29 (H30)	1.28 (R1)	1.45	↓	子ども青少年課
出生数	人	2,245 (H29)	2,076 (H30)	2,004 (R1)	2,184	↓	子ども青少年課
婚姻率	千人 対	4.7 (H29)	4.4 (H30)	4.6 (R1)	4.7	→	子ども青少年課

※出生数が減少するなか、令和6（2024）年までに合計特殊出生率が1.45に改善し、加えて20-39歳までの社会増減がゼロになると仮定して算出した出生数の推計値

1 進捗状況：目標値に到達…↑，目標値に向け推移…↗，停滞…→，後退…↓

【現状分析と今後の方向性】

- 出生数は、令和元年度に前年比で72人の減少となり、年々減少しているが、婚姻率はほぼ横ばいとなっており、今後の出生数の増加が期待される。しかしながら、市の人口が前年比で1,666人の減少であったのに対し、出産年齢人口の15から49歳女性の人口は1,146人の減少となっていて、減少した人口の約68.8%に相当し、減少した人口の中で出産年齢人口が突出している。

年 (各年末)	総人口	計	女性						
			15～	20～	25～	30～	35～	40～	45～
平成30	290,136	60,032	6,679	6,971	7,220	8,166	9,349	10,708	10,939
令和元	288,470	58,886	6,725	6,709	7,040	7,800	9,172	10,313	11,127
差	△1,666	△1,146	46	△262	△180	△366	△177	△395	188

- 今後は、いきいき岩手結婚サポートセンターの認知度の更なる向上に努め利用促進を図るとともに、結婚支援ボランティアの活動の活発化を図るため、ボランティア同士の情報交換の場を設けることや、活動の周知を進めることなどにより、一層の婚姻件数の増加を図る。
- 産後ケアに係るニーズ調査に基づき今後のサービスを検討するほか、出産後間もない時期の産婦健康診査の実施や家庭訪問等による産後ケアを実施し、安心して子どもを産むことができる環境を整備する。
- 産休や育休明けなどで年度途中で保育施設入所を希望する児童の待機を解消するため、幼稚園の認定こども園化の推進も含めた計画的な保育施設の整備のほか、保育士不足への対応や保育士の処遇改善に取り組む。
- 「盛岡市子どもの未来応援プラン」を策定し、子どもの貧困対策を計画的・総合的に推進し、専門機関や地域と連携しすべての子どもが将来に希望を持つことができるまちを実現する。

戦略5 結婚の希望に応える支援

【KPI（重要業績評価指標）※1】

指標	単位	H30 基準値	R1	R2	R6 目標値	進捗 状況 ¹	担当課
いきいき岩手結婚サポートセンター ⁴ の 成婚実績数（各年）	組	23	81	13	25	↓	子ども青少年課

※令和元年度までの第1期盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、累計数をKPI数値としていた

1 進捗状況：目標値に到達…↑，目標値に向け推移…↗，停滞…→，後退…↓

4 いきいき岩手結婚サポートセンター……結婚を希望する方々を支援するため、岩手県や県内市町村などが連携して平成27年10月1日に設置。出会いの機会を提供することで、パートナー探しを支援する。通称『i-サポ』

【現状分析と今後の方向性】

- 「いきいき岩手結婚サポートセンターの成婚実績数」は、13件で各年目標値の半分となった。これは、コロナ禍によりいきいき岩手結婚サポートセンターの活動が制限されたほか、登録者の出会う場等が制限されたことが要因と考えられる。
- 今後は、いきいき岩手結婚サポートセンターの認知度の更なる向上に努め利用促進を図るとともに、結婚支援ボランティアの活動の活発化を図るため、活動の周知を進めること、ポストコロナにおけるマッチングの方法を柔軟に変更するなどにより、婚姻件数の増加を図る。

【計画事業】

事業	現状と今後の取組					担当課
	R2	R3	R4	R5	R6 以降	
2-1-1 いきいき岩手結婚サポートセンターの運営への参画	○	○	○			子ども青少年課

戦略6 安心して子どもを産み育てられる環境整備

【KPI】

指標	単位	H30 基準値	R1	R2	R6 目標値	進捗 状況 ¹	担当課
保育所待機児童数 (各年度1月1日現在)	人	84	40	0	0	↑	子育てあしん課
市民アンケートで「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合	%	19.9	18.9	23.2	50.0	→	子ども青少年課
市民アンケートで「子育てを楽しんでいる」と答えた子どものいる親の割合	%	74.2	79.7	79.3	80.0	↗	子ども青少年課
子育て支援サービス利用者数	人	81,856	64,478	28,694	86,868	↘	子ども青少年課

1 進捗状況：目標値に到達…↑，目標値に向け推移…↗，停滞…→，後退…↘

【現状分析と今後の方向性】

- 「保育所待機児童数」は、令和3年1月1日現在では「0人」であり、目標を達成している。一方で、産休や育休明けなどで年度途中に入所を希望する児童や、特定の保育所を希望することにより入所できない空き待ち児童がいるため、入所を希望する児童の全てが入所できるように、保育所の新規開設や幼稚園の認定こども園化による定員の拡大や保育士宿舍借上げ支援事業による保育士確保等により、積極的な待機児童対策を展開した。今後も、幼稚園の認定こども園化による定員の拡大や若手保育士処遇改善支援事業などの保育士確保に取り組み、継続した待機児童解消の解消を図る。
- 「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合及び「子育てを楽しんでいる」と答えた子どものいる親の割合は、いずれも増加している。子ども未来ステーションの設置により包括的に子育てに関する相談・支援を受けられることによるものと考えられる。ただし、支援策・支援活動の充実については、サービスが実施している多くのサービス情報が届いていないものと考えられるため、HPやSNSを使用した、受け取りやすい情報発信に努める。
- 「子育て支援サービス利用者数」は地域子育て支援センター、つどいの広場等の拠点利用者数のことであるが、令和2年度28,694人と平成30年の基準と比較し大幅に減少した。これは、コロナ禍による利用控えや利用自粛をお願いしたことによるものであり、ポストコロナにおいては基準値程度に回復するものと推察される。
- 安心して子どもを産むことができる環境を整備するため、産後ケアに係るニーズ調査を行ったことから、今後のサービスを検討するほか、出産後間もない時期の産婦健康診査の実施や家庭訪問等による産後ケアを実施し、きめ細やかな支

援に努める。

【計画事業】

事業	現状と今後の取組					担当課
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6 以降	
2-6-1 待機児童解消強化事業	○	○	○			子育てあ しん課
2-6-2 私立児童福祉施設等整備助成事業	○	○	○			子育てあ しん課
2-6-3 企業主導型保育事業の推進	○	○	○			子育てあ しん課
2-6-4 私立児童福祉施設等運営事業	○	○	○			子ども青 少年課 子育てあ しん課
2-6-5 保育所管理運営事業	○	○	○			子育てあ しん課
2-6-6 特別保育事業	○	○	○			子育てあ しん課
2-6-7 地域児童クラブ運営事業	○	○	○			子ども青 少年課
2-6-8 放課後児童健全育成事業実施施設 整備補助事業	○	○	○			子ども青 少年課
2-6-9 児童館管理運営事業	○	○	○			子ども青 少年課
2-6-10 医療費給付事業（妊産婦，乳幼児， 小学生，中学生）	○	○	○			医療助成 年金課
2-6-11 母子保健事業	○	○	○			母子健康課
2-6-12 産婦健康診査事業	○	○	○			母子健康課
2-6-13 産後ケア事業	○	○	○			母子健康課
2-6-14 乳幼児健康診査事業	○	○	○			母子健康課
2-6-15 小児救急輪番制病院事業【☆】	○	○	○			企画総務課
2-6-16 新生児聴覚検査事業	○	○	○			母子健康課
2-6-17 地域における子育てサロン支援事 業	○	○	○			地域福祉課
2-6-18 地域子育て支援センター事業	○	○	○			子ども青 少年課
2-6-19 つどいの広場管理運営事業	○	○	○			子ども青 少年課
2-6-20 赤ちゃんの駅設置事業	○	○	○			子ども青 少年課
2-6-21 乳児家庭全戸訪問等事業	○	○	○			母子健康課

事業	現状と今後の取組					担当課
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6 以降	
2-6-22 公民館による子育て関連講座	○	○	○			生涯学習課
2-6-23 空き家バンク制度の普及	○	○	○			都市計画課
2-6-24 子どもに安心して教育を受けさせるための取組	○	○	○			学務教職員課 学校教育課
2-6-25 子どもの貧困対策推進事業	○	○	○			子ども青少年課
2-6-26 子育て世代包括支援センター事業	○	○	○			母子健康課
2-6-27 子ども家庭総合支援センター事業	○	○	○			子ども青少年課
2-6-28 養育支援訪問（家事援助）事業	○	○	○			子ども青少年課
2-6-29 子育て支援員等研修事業	○	○	○			子育てあんしん課
2-6-30 認定こども園等運営費給付事業	○	○	○			子育てあんしん課
2-6-31 子育て応援プラザ運営事業	○	○	○			子ども青少年課
2-6-32 子ども未来基金事業	○	○	○			子ども青少年課
2-6-33 保育士確保対策事業	○	○	○			子育てあんしん課
2-6-34 不妊に悩む方への特定治療支援事業	○	○	○			母子健康課
2-6-35 予防接種事業	○	○	○			保健予防課
2-6-36 就学援助事業	○	○	○			学務教職員課
2-6-37 保育所等副食費助成事業	○	○	○			子育てあんしん課
2-6-38 第2子以降の保育料の無償化事業	○	○	○			子育てあんしん課

基本目標3 躍動する中核都市としての魅力・求心力の向上

【数値目標】

指標	単位	H30 基準値	R1	R2	R6 目標値	進捗 状況 ¹	担当課
20歳から39歳までの人口移動数	人	△395	△600	△329	0	→	企画調整課
観光客入込数	万人 回	508	519	450	530	↘	観光課

1 進捗状況：目標値に到達…↑，目標値に向け推移…↗，停滞…→，後退…↘

【現状分析と今後の方向性】

- 「20歳から39歳までの人口移動数」は令和2年度△329人となっており、基準値（平成30年度）と比べ改善したものの、依然として若者の東京圏や宮城県への転出超過が続いている。今後については、転入者の増加と転出者の減少の両方を目指し、令和3年度に設置した関係人口交流拠点「盛岡という星でBASE STATION」を積極的に活用した個別相談や、高校生年代への盛岡を知ってもらう取組みを推進していく。
- 「観光客入込数」は、概ね目標値の500万人回で推移してきたが、コロナ禍により海外からの入込はほとんど寄与されず、国内旅行についても県をまたぐ移動の自粛等により減少となった。今後については、ポストコロナにおけるV字回復となるよう、関係団体と協力しプロモーション活動を実施する。

戦略7 関係人口・交流人口の増加

【KPI】

指標	単位	H30 基準値	R1	R2	R6 目標値	進捗 状況 ¹	担当課
宿泊観光客数	万人 回	99	107	66	115	↓	観光課
外国人観光客入込数	万人 回	5.0	6.5	1.0	15.0	↓	観光課
ふるさと納税寄付人数	人	1,797	4,051	5,079	4,500	↑	市民税課

1 進捗状況：目標値に到達…↑，目標値に向け推移…→，停滞…→，後退…↓

【現状分析と今後の方向性】

- 「宿泊観光客数」は、令和2年度は66万人回と平成30年度に比べ33万人減少している。また、「外国人観光客入込数」も、1.0万人回と大幅に減少している。コロナ禍により人流の抑制によるもので、ポストコロナにおいてV字回復となるよう、関係団体と協力しプロモーション活動を実施する。
- 「ふるさと納税寄付人数」は、令和2年度5,079人で、平成30年度と比べ、大幅に増加していることから、関係人口の増加に一定の効果を果たしている。一方で、納税額が大幅に増加している県内市町村もあることから、今後は、ポータルサイト、返礼品、PR方法、使途などについて、大幅に見直し、ふるさと納税をシティプロモーション視点で強化していく。
- 令和2年3月に策定した「市シティプロモーション指針及び推進計画」（令和2年度～令和6年度）に基づき、担当課が実施する事業におけるターゲット設定の考え方やターゲットに応じた情報発信、効果分析の手法などを共有し、適宜アドバイスをを行うほか、市民が主体となった情報発信を推進することで、シビックプライドの醸成を図りながら、ポストコロナにおける交流人口の増加を見据え、情報発信力を強化する。

【計画事業】

事業	現状と今後の取組					担当課
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6 以降	
3-7-1 シティプロモーションの推進 (アウタープロモーション)	◆	◆	◆			都市戦略室
3-7-2 スポーツ・ツーリズム ⁵ の推進 【☆】	○	○	○			スポーツ推 進課
3-7-3 盛岡芸妓育成事業	○	○	○			観光課
3-7-4 外国人観光客誘致推進事業 【☆】	○	○	○			観光課
3-7-5 開運橋魅力向上事業	○	○	○			観光課
3-7-6 観光プロモーション事業	○	○	○			ものづくり 推進課
3-7-7 祭り・イベント振興事業	○	○	○			観光課
3-7-8 M I C E誘致推進事業【☆】	○	○	○			観光課
3-7-9 広域観光推進事業【☆】	○	○	○			観光課
3-7-10 いしがきミュージックフェスティ バル実行委員会への参画	○	○	○			公園みどり 課
3-7-11 ふるさと納税制度の普及	○	○	○			企画調整課
3-7-12 大型観光キャンペーン事業	○	○	○			観光課
3-7-13 総合交流ターミナル機能拡充事 業	○	○	○			産業振興課
3-7-14 盛岡ファン・コミュニティの活 動支援	○	○	○			都市戦略室
3-7-16 関係人口等と地域課題のマッ チング支援等	○	○	○			都市戦略室
3-7-17 サクラパーク姫神を拠点とした 桜の名所づくり	○	○	○			産業振興課
3-7-15 盛岡地区かわまちづくり事業	○	○	○			公園みどり 課
3-7-18 小学生農村体験交流事業	○	○	○			玉山総合事 務所総務課
検討 事業 若者をひきつける都市の調査・ 研究						都市戦略室

【☆】・・・「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業

◆地方創生推進交付金等を活用 ○市単独又は地方創生以外の補助金等を活用

5 スポーツ・ツーリズム・・・スポーツを通じた交流人口の拡大のほか賑わいの創出や地域振興に結びつく取組全般。例えば、プロスポーツなどの観戦やスポーツイベントへの参加、スポーツ合宿などを主目的に、開催地周辺の観光を組み合わせた旅行形態など。

戦略8 地元への愛着の形成，移住・定住の促進

【KPI】

指標	単位	H30 基準値	R1	R2	R6 目標値	進捗 状況 ¹	担当課
U I ターン相談件数	件	164	141	169	300	→	都市戦略室
移住支援金を活用して移住した件数（各 年）	件	0	1	4	11	↗	経済企画課

1 進捗状況：目標値に到達…↑，目標値に向け推移…↗，停滞…→，後退…↘

【現状分析と今後の方向性】

- 「U I ターン相談件数」は，令和2年度169件で平成30年度と比べ，横ばいとなった。移住定住施策の実施により，個別の相談件数は増加したが，コロナ禍により東京圏でのイベント出展等が全て中止となってしまったことから増加とならなかった。今後についても，イベントの開催については不透明であるため，令和3年度に設置した関係人口交流拠点「盛岡という星でBASE STATION」での移住コーディネーターによる個別相談やオンライン相談を推進していく。
- 東京圏等における盛岡に関することをキーワードに活動する団体の支援や，盛岡の暮らしや仕事を体験できるコンテンツ作り，関係人口の増加に重点をおいた取組を通して移住や定住の推進を図るための事業を展開する。
- 関係人口交流拠点において，高校生を対象とした探究活動の場として活用し，盛岡の新たな魅力を知ってもらい進学等で東京圏に転出しても将来Uターンをしてもらえるよう，利用の促進を図る。
- 平成29年度から地域おこし協力隊員を任用し，市が抱える地域課題の解決に向けて活動しており，令和2年度までに16名の隊員が着任した。今後も隊員が意欲を持って活動できる環境を整えるとともに，導入の拡充に対する地域や庁内との合意形成・受入体制の整備を行う。

【計画事業】

事業	現状と今後の取組					担当課
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6 以降	
3-8-1 地域おこし協力隊 ⁶ 活用事業【☆】	○	○	○			企画調整課 都市戦略室 農政課 産業振興課
3-8-2 官民連携による移住・交流を促進するための拠点の整備	◆	◆	◆			都市戦略室
3-8-3 お試し居住事業（盛岡広域移住・定住促進事業を含む。）【☆】	◆	◆	◆			都市戦略室
3-8-4 移住・定住の促進にかかるプロモーション	◆	◆	◆			都市戦略室
3-8-5 定住化対策空き家利用促進事業	○	○	○ 変更			都市計画課
3-8-6 シティプロモーションの推進（インナープロモーション）	◆	◆	◆			都市戦略室
3-8-7 移住・就労マッチング支援事業（再掲）	○	○	○			経済企画課
3-8-8 高校生等を中心とした地域課題解決・愛郷心の形成	○	○	○			都市戦略室
検討事業 2 地域居住等促進事業						都市戦略室

【☆】・・・「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業

◆地方創生の交付金を活用 ○市単独又は地方創生以外の補助金等を活用

6 地域おこし協力隊・・・都市地域から過疎地域等の条件不利地域に生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱。隊員は、一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組のこと。

戦略9 都市機能の強化

【KPI】

指標	単位	H30 基準値	R1	R2	R6 目標値	進捗 状況 ¹	担当課
1日あたりのバス・鉄道利用者数	人	75,827 (H29)	74,863 (H30)	72,769 (R1)	74,600	↓	交通政策課
宿泊観光客数（再掲）	万人 回	99	107	66	115	↓	観光課

1 進捗状況：目標値に到達…↑，目標値に向け推移…↗，停滞…→，後退…↓

【現状分析と今後の方向性】

- 「1日あたりのバス・鉄道利用者数」は，平成29年度より3,058人の減少となった。全国的な傾向と同様に人口減少・少子高齢化による公共交通の利用者数の減に加え，コロナ禍の影響によるものと考えられる。身近な移動手段としてのバス，タクシー，中距離の輸送の手段としての鉄道を適切に組み合わせることで，利用しやすい公共交通網を形成し，利用者の利便性の向上を図るとともに，高齢者等の移動制約者に応じた公共交通の利用が困難な交通空白地において，タクシー事業者を活かした移動手段や地区の共助による移動手段の確保，導入を行う。
- デジタル化推進を図るため，令和2年度は国が掲げるスーパーシティ構想で例示されている，観光，交通，福祉などの各分野の現状に関する調査・分析を行った。DXに対応していくためには，官民一体となった体制整備に向けた機運の醸成や，人材育成が不可欠であることから，産官の若手職員を対象としたDXの勉強会を開催し，希望する企業には，伴走型のデジタル化へのアドバイスを実施しながら実態の把握を行い今後の取組方針を検討し，ポストコロナを見据え都市機能の高度化を推進する。

【計画事業】

事業	現状と今後の取組					担当課
	R2	R3	R4	R5	R6以降	
3-9-1 中枢中核都市機能の強化に係る調査研究	○	○	○			都市戦略室
3-9-2 アフターコロナを見据えたデジタル・トランスフォーメーション推進に係る調査・分析	○	○	○			都市戦略室
3-9-3 地方創生SDGs推進に係る調査研究	○	○	○			都市戦略室
3-9-4 盛岡市動物公園再生事業	○	○	○			公園みどり課
3-9-5 スポーツ・ツーリズムの推進（施設整備）	◆	○	○ 変更			スポーツ推進課
3-9-6 田沢湖線（仮称）前潟駅整備事業	○	○	○			交通政策課
検討事業 地域公共交通サービス向上支援事業	○	○	○			交通政策課
検討事業 都市機能の強化に関する調査研究						市街地整備課

【☆】・・・「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業

◆地方創生の交付金を活用 ○市単独又は地方創生以外の補助金等を活用

第2期盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略数値目標及びKPI一覧（再掲）

基本 目標	指標名	単位	H30 基準値	R1	R2	R6 目標値	R2 達成度	担当課	
若者・女性をひきつけるしごと創出	数値 目標	盛岡公共職業安定所管内の就職を希望する高校3年生のうち県内就職を希望する者の割合	%	67.6	68.1	68.4	70.0	↗	経済企画課
		大学卒業生の地元就職率	%	44	42	43	55	→	企画調整課
		盛岡公共職業安定所管内の就職率（新規学卒者を除く。）	%	38.3	38.5	33	42.5	↘	経済企画課
		盛岡公共職業安定所管内の雇用保険適用事業所数	社	8,426	8,406	8,407	8,700	↘	経済企画課
	KPI 戦略1	市インキュベーション施設の稼働率	%	85.2	79.6	63.3	89	↘	ものづくり推進課
	KPI 戦略2	卸・小売の年間販売額	億円	12,664	—	—	11,800	↘	経済企画課
		1企業あたりの商業サービス業の企業売上高	千円	199,022	—	—	185,175		経済企画課
		製造品出荷額等	千万円	11,962	12,289	12,554	11,017	↑	ものづくり推進課
		新規就農者数	人	150	161	186	211	↗	農政課
		農業総生産額	百万円	9,412 (H28)	9,464 (H29)	9,292 (H30)	10,025	↘	農政課
	KPI 戦略3	ワーク・ライフ・バランス推進事業参加企業数	社	89	272	61	197	↘	経済企画課
	KPI 戦略4	ジョブカフェいわての利用者数	人	51,501	58,171	73,207	55,000	↑	経済企画課
	切れ目のない結婚・出産・子育て支援	数値 目標	合計特殊出生率（岩手県人口動態統計）	%	1.35 (H29)	1.29 (H30)	1.28 (R1)	1.45	↘
出生数			人	2,245 (H29)	2,076 (H30)	2,004 (R1)	2,184	↘	子ども青少年課
婚姻率（岩手県人口動態統計）			千人対	4.7 (H29)	4.4 (H30)	4.6 (R1)	4.7	→	子ども青少年課
KPI 戦略5		いきいき岩手結婚サポートセンターの成婚実績数（各年）	組	23	81	13	25	↘	子ども青少年課
KPI 戦略6		保育所待機児童数（各年度1月1日現在）	人	84	40	0	0	↑	子育てあんしん課
		市民アンケートで「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合	%	19.9	18.9	23.2	50.0	→	子ども青少年課
		市民アンケートで「子育てを楽しんでいると感じている」と答えた子どものいる親の割合	%	74.2	79.7	79.3	80.0	↗	子ども青少年課
		子育て支援サービス利用者数	人	81,586	64,478	28,694	86,868	↘	子ども青少年課

基本 目標	指標名		単位	H30 基準値	R1	R2	R6 目標値	R2 達成度	担当課
躍動する中核都市としての魅力・求心力の向上	数値 目標	20歳から39歳までの人口移動数	人	△ 395	△600	△ 329	0	→	企画調整課
		観光客入込数	万人 回	508	519	450	530	↘	観光課
	K P I 戦略 7	宿泊観光客数	万人 回	99	107	66	115	↘	観光課
		外国人観光客入込数	万人 回	5.0	6.5	1.0	15.0	↘	観光課
		ふるさと納税件数	人	1,797	4,051	5,079	4,500	↑	市民税課
	K P I 戦略 8	UIターン相談件数	件	164	141	169	300	→	都市戦略室
		移住支援金を活用して移住した件数（各年）	件	0	1	4	11	↗	経済企画課
	K P I 戦略 9	1日あたりのバス・鉄道利用者数	人	75,827 (H29)	74,863 (H30)	72,769 (R1)	74,600	↘	交通政策課
		宿泊観光客数	万人 回	99	107	66	115	↘	観光課